

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-141	12-048	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
Alcohol use disorders in the elderly: a brief overview from epidemiology to treatment options. 高齢者のアルコール使用障害：治療選択の疫学的な概要の要約		
執筆者		
Caputo F, Vignoli T, Leggio L, Addolorato G, Zoli G, Bernardi M.		
掲載誌		
Exp Gerontol. 2012 Jun;47(6):411-6. Review.		
キーワード		
アルコール使用障害、アルコール関連障害の原因、アルコール関連疾患、高齢者のアルコール使用障害者の診断と治療		
要 旨		
<p>アルコール使用障害(AUDs)は 1-3%の高齢者を悩ませている。CAGE, SMAST-G, AUDIT は一般的かつ妥当性が検証された高齢者の AUDs を同定する質問票であり、アルコール依存症のいくつかの臨床マーカー(AST, GGT, MCV, CDT)も AUDs 同定の一助となる。特に、アルコール誤使用における MCV と GGT の感度は、若年者に比べて高齢者が高い。</p> <p>アルコール離脱症候群における医学・神経学的な合併症は、若年者に比べて高齢者の方が高い。慢性的なアルコール依存症はいくつかの臓器の組織障害に関連している。すなわち、高齢者の血圧上昇は若年者に比べて頻度が高く、アルコール性肝臓疾患へのより大きな脆弱性となり、また閉経期の女性の乳がんリスクを上昇させることは既報の通りである。さらに、アルコール依存症の高齢者の認知症の割合は、アルコール依存症ではない高齢者の 5 倍で、認知症の高齢者の約 25%が AUDs であり、うつ病と診断された 65 歳以上の約 20%が AUD を合併している。さらに、高齢のアルコール依存症の再発の予防が、ある場合には若年者より良い。実際に、20%以上の高齢アルコール依存症の治療者は、その後 4 年間再発していない。</p> <p>高齢者における AUDs の発症はかなり高いとみられ、高齢者の AUDs はまだ下方推定されている。疫学分野におけるさらなる研究を実施することにより高齢の AUDs における予防と薬理・精神療法的治療が是認されるであろう。</p>		